

## スマートシティ戦略部・令和8年度部局運営方針

AIをはじめとするデジタル技術の飛躍的進化を踏まえ、「大阪スマートシティ戦略」に基づき、人口減少や超高齢化など多様化・加速化する社会課題に対応した“産業と暮らしが共に豊かに発展する次世代型スマートシティ”の実現を産学官との共創によりめざします。

### 重点テーマ1：最先端技術を活用した住民QOLの向上

最先端技術を暮らしに実装することで、大阪に住む、訪れる人々が、豊かな暮らしや、便利なサービスを楽しむことができるウェルビーイングな社会をめざします。  
〔主な取組〕

- AIエージェントにより、行政手続の時間短縮や簡易化など住民サービスの高度化と行政事務の効率化に向けた取組を推進
- より多くの府民が行政サービスをワンポータルで使えるよう、総合行政ポータルmy door OSAKA（マイド・ア・おおさか）のサービス内容を充実
- WEB3技術を活用したPHRなどのデータ連携により、医療の専門家が住民の日常生活に寄り添い、QOL向上につながる社会モデルの実現

### 重点テーマ2：都市競争力の強化に向けた取組の推進

副首都に相応しい都市機能を備えるため、AIなど最先端技術を活用し、産業創出力や行政効率に優れ、新サービスを次々と生み出す都市をめざします。  
〔主な取組〕

- 大阪広域データ連携基盤（ORDEN）のデータプラットフォーム（ODPO）において、AIとの連携も見据え、利活用可能な形でデータ整備を進めるとともに、オープンデータの拡充・見える化など、データ利活用を促進
- OSAKAイノベーションデータラボ（ハッカソン）等を通じて、民間企業や大学等と連携した取組を深化させ、更なるユースケース創出を推進
- 国際競争力と副首都機能の強化を目的として、「大阪デジタルインフラ協議会」を設置し、今後のAI社会において必須となる通信、データセンター、電力などのデジタルインフラの整備を促進

### 重点テーマ3：共創による次世代型スマート社会への加速

産学官、国・自治体、住民との共創により次世代型スマート社会の実現をめざします。

- 〔主な取組〕
- 大阪スマートシティパートナーズフォーラム（OSPF）において、産学官の共創により、多様な企業ソリューション等を社会実装することで市町村が抱える地域・社会課題解決に向けた取組を推進
  - 市町村のデジタル力の強化に向け、システム標準化の対象である基幹業務システムを中心に、共同化に向けた調査等を実施
  - スーパーシティ型国家戦略特区のさらなる活用を図るため、フィールド・企業等を大阪府・市が募集・選定し、フィールド・企業等による規制改革や先端的サービスの実装に向けた支援を行うための「大阪スーパーシティ認証登録制度」を運用
  - AIなどのデジタル技術を最大限活用し、住民の意見を幅広く行政施策に反映させる「住民参加型」スマートシティに向けた検討を加速